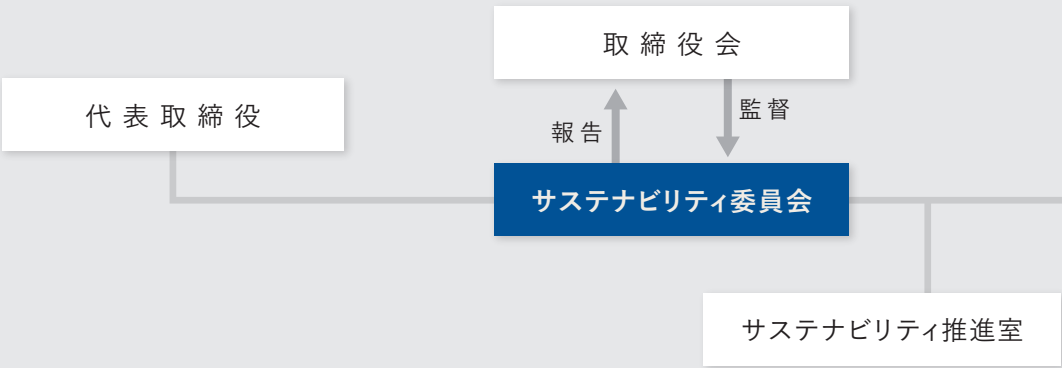
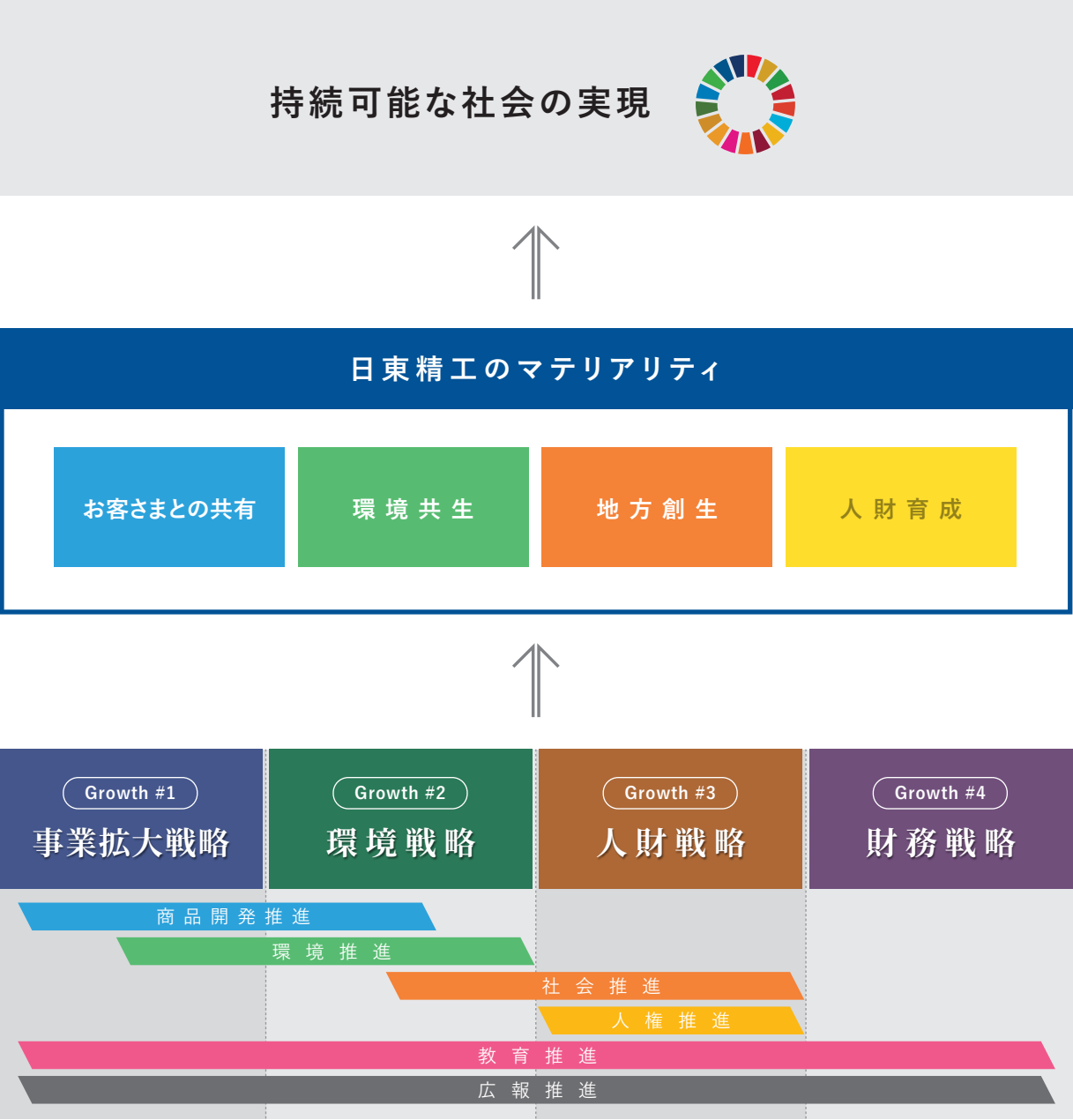


取締役会の監督のもと、代表取締役社長を委員長とし、社外取締役を含む取締役で構成するサステナビリティ委員会を設置しています。この委員会は、持続可能な社会の実現に向けた経営を行う意思決定機関としています。一方、日東精工では社は「我らの信条」で掲げる「よい自己」、「よい仕事」、「よい貢献」を経営目的とし、長期経営ビジョンの実現のために策定された中期経営計画 Mission G-secondを推進し

ています。この事業活動が、サステナビリティ経営の方針と連動するよう、サステナビリティ委員会の傘下にある推進担当会議体が、自身の活動に関連する中期経営計画 Mission G-secondの各戦略に横断的に関わっています。経営目的も持続可能な社会の実現もあるべき姿は同じですが、多様な視点から実践していくことで、より高い組織力と継続的な効果につながると考えています。



推進活動	推進担当会議体	役割と取り組み
商品開発推進	開発委員会	お客さま、市場のニーズを先見し、研究・開発に関する方針や計画の立案、管理を行う
環境推進	環境管理担当者会議	環境課題を把握し、当社が及ぼす影響や当社にできる改善を検討し、方針や計画の立案、管理を行う
社会推進	全社厚生委員会	地域の活性化、地域産業の発展、福利厚生に関する方針や計画の立案や機会の提供を行う
人権推進	全社人権推進委員会	ダイバーシティ、次世代育成、女性活躍推進、その他人権に関する方針や計画の立案、制度づくりを行う
教育推進	全社教育推進委員会	企業価値向上、人財育成につながる教育計画の立案、機会の提供を行う
広報推進	広報担当、財務担当	求められる財務情報、非財務情報を開示する。企業価値向上につながる情報を推進活動に展開する